

# LA DOLCE VITA

海とイタリアをこよなく愛し、ワイン、アート、マリン文化に深い造詣を持つ伊藤英一氏。氏がこれまで体験してきた地中海のマリタイムの煌めきを中心に、海と食とボートに関わる彼らのライフスタイルを語る。

text & photo: Eiichi Ito

## #23 サルデーニャ島で過ごすプチ・バカンス

### コスタ・スメラルダ

サルデーニャ島はシチリア島に次ぐ地中海第2の大きさで、四国を一回り大きくした比較的大きな島である。まだイタリアが小国割拠していた18世紀、サルデーニャ王国の国王がイタリアという国として統一した事で知られている。サルデーニャ島を [wikipedia](#) で調べてみると、古代ギリシャではサンダリオンと呼ばれていたという。イタリア半島を長靴と見立てると、サルデーニャ島がその足跡ということの様だ。サンダリオンはサンダルの語源となった言葉である。また、鯛の英語読みのサーディンの語源はサ

ルデーニャとの事もなかなか面白い。

余談はさておき、現代のサルデーニャ島はひなびた漁村がある一方、北東部海岸に別荘やホテルが立ち並ぶ超高級リゾートが近年開発され、ヨーロッパの人々の憧れの地となっている。5、6月から9月頃まで、コスタ・スメラルダ (Costa Smeralda) と呼ばれるこの海洋リゾートには、ヨーロッパ中のスーパーヨットが集結すると言っても過言ではない。エメラルド色の海に映えるスーパーヨットが集結する様は実に圧巻だ。まさにコスタ・スメラルダの夏は僕にとっても夢のようなところであり、この環境を呼吸するだけで明日への活力が湧いてくる特別な場

所でもある。

コスタ・スメラルダは富豪で知られるアーガ・ハーン4世により、1970年代に非常に優れた環境に配慮した海洋リゾートとして開発され、その素晴らしさゆえ急速にその知名度が世界に知れ渡った。アーガ・ハーン家は、一般的にはサラブレッドの育成や所有で知られているが、4世は海洋リゾートや船舶にも造詣が深く、コスタ・スメラルダ開発と共に1992年には220フィートの「デストリエーロ (Destriero)」号を建造し、大西洋横断西回りでブルー・リボン賞を獲得している。3機の GE Aviation 1600 ガスタービンで最高速 67ノットを叩き出す艇は平均 53ノットで58時間34分の最高記録を打ち立てて話題となった。賞を取った直後、コスタ・スメラルダに戻って陸に上がっていたデストリエーロ号に偶然接し、カメラ製ウォータージェットに度肝を抜かれた。彼は更にヨーロッパとサルデーニャ島を結ぶ航空会社メリディーナも開設している。

### ポルトロトンドでの滞在

ポルト・ロトンド (Porto Rotondo) は、ポルト・チェルボと共にコスタ・スメラルダを代表する高級リゾートである。ロトンドとは円形を意味するイタリア語で、その名の通り円形の美しいマリナーを中心に別荘や小粋



別荘の海を見下ろす広いテラスにはブーゲンビリアが咲き乱れ、舌が広でも南国のムードを醸し出してくれる。別荘から数分下っていくと、白砂のビーチが出迎えてくれる。街に出て、ブティックでショッピングしたり、カフェでのライブを聴いたりする事も楽しい。夜ともなると、マリナーに散歩にでかけ、居並ぶスーパーヨットの色とりどりのイルミネーションにワクワクさせられる。ボートやヨット好きにとって、ここは本当にパラダイスのような処だ。

なショップ、レストランや教会、美術館等が建ち並んでいる。そんな中心地からほど近い別荘地にある一軒家を借りた。

3ベッドルームの海を見下す別荘は、広いタイル張りのテラスと一段高い所には屋外ダイニングが設えてあって、夏のコスタ・スメラルダを満喫するには最適な別荘である。コミュニティの中央にはパーキングがあり、別荘の人々は電動カートで行き来する。プライベートビーチへは徒歩数分、白砂と紺碧の海が心身ともに癒してくれる。車でポルト・ロトンドまではものの10分だから何をするにも頗る便利なローケーションだ。ほぼ毎日魚や肉、野菜等を買出しに行きクックした。時にはエスプレッソ一杯とクロワッサンでの朝食のためにカフェへ、或いはマリナーに面したジェラート屋だったり、海辺のトラットリアでディナーしたり……。

ある時近くの肉屋で素晴らしいキアーノ牛を見つけた。キアーノ牛は中部イタリアのトスカナ地方で産するイタリアきってのブランド牛だ。フィレンツェ名物 ビステッカ・アツラ・フィオレンティーナはこのブランド牛のいわゆる T ボーンステーキで、ヒレとロースを一度に味わえる。早速5センチの厚さにカットしてもらい別荘でバーベキューディナーを開催した。

貸別荘での楽しみはこうした食の楽しみがある一方、僕としてはマリナーに居並ぶイタリアン・ヨットを見ながら散歩するのが毎日の楽しみとなった。インフレータブルボートからスーパーヨットまで、その艇種は様々である。

シーウォーター (SEAWATER) はポルト・ロトンドを拠点とする RIB ビルダーで、事前にアポして試乗する事が出来た。50 フィー

トの全身ブラックの船体は壮観そのもの。ボルボベンタ 500hp 2基掛けが低音の唸りをあげて加速し、両サイドに抱えた大きなチューブが水面に触れて微妙に振動する様に興奮した。インフレータブルボートもこのサイズとなると異次元だと感じた。おそらくどんな海象でも物とせずつに走破するだろうと、容易に想像出来た。

コスタ・スメラルダでは RIB のレンタルも可能で、40馬力以下なら免許無しで OK。無人の小さな島へ乗り付けてビーチを独占する事も出来る。コスタ・スメラルダでの楽しみは尽きない。 *P.B.*

### Profile

#### 伊藤英一

事業家。ボート歴は10代から既に半世紀以上。欧米の多くのリゾート地を訪れ、その土地の食やワイン、アート、音楽等に触れることを至上の喜びとしている。RIVA と RIB の熱烈な愛好家。

